

マンションのこと みんなでなんでも話し合ってみよう 連続座談会ニュース 第114、115合併号

板橋マンション管理組合ネットワーク

◎第114回のテーマは

「建設現場の3M(ムリ・ムラ・ムカンシン) 講師はいたかんネット副会長の渡邊真弘一級建築士。私は欠席したので、残念ながら内容は把握できませんが、きっといつものような楽しい建設現場の打ち明け話となったことと推察いたします。

◎第115回のテーマは

「国交省の補助金によるマンションストック・長寿命化」 講師はパーク・エステート上板橋の理事長、福理事長である山元正宜氏と田原肇氏です。老朽化したマンションの改修や建替えの費用に国から補助金が出る、というもの。15億円の予算であり

- ① **計画支援型**(事業前の立ち上げ準備) 補助金は上限500万円。
- ② **工事支援型**(長寿命化改修・建替工事) 補助金は長寿命化改修、建替工事どちらも費用の3分の1以内。

以上二つのタイプで公募・採択する。

取組評価のポイント

いずれの場合も取組全体として、**※先導的**であるかどうかを評価する。

この「先導的」というフレーズが資料の随所に散見される。

※先導的

政策目的に適合した取組で、独自性、創意工夫、合理性、合意形成、工程計画、維持管理の点で総合的に優れた取組のこと

いたかんネット



最近読んだ面白い BOOK 紹介④

「マンション管理員オロオロ日記」

著者:南野苑生 みなみのそのお

マンション管理員の実情がリアルにわかる実体験に基づく日記。著者はバブル崩壊後、紆余曲折を経て妻と共に住込みのマンション管理員となる。(現在72歳)

また、管理業務主任者の資格を取り、随所に『管理組合とは?』とか『総会とは?』といった注釈が入っているのが親切。窓口業務のほか、理事会の議事録の作成や文字校正、印刷、それらの全戸配布といった業務もこなす。

騒音問題の仲裁、日頃のウップンの聞き役等苦情承り人と目されているのが実情であるが、管理員が気を使わなければならないのは住民ばかりではない。「理事長」然り、「フロントマン」も然り…。

管理員と奥様との二人三脚のドキュメント日記であり、お二人の奮闘と掛け合いが楽しい。

奥様がよくできた方で、ご主人曰く「この守護神(奥様)がいなければ、私はとうの昔に管理員を首になっていたことだろう」

